

長野の林業

No.
397
2025.1.10

特集

新年のごあいさつ

トピックス

- ・林業総合センターの取り組み
- ・信州伐木チャンピオンシップ2024開催
- ・木を使い切るまち
- ・「災害に強い森林づくり」研修会
- ・きのこ料理コンクール

地域の話

- ・松本地域

県森連だより



謹賀新年



木曾に集う
チェーンソーの巧者たち



信州伐木チャンピオンシップ2024

本県では初となるチェーンソーの技術競技会「信州伐木チャンピオンシップ2024」が10月19日(土)長野県林業大学校(木曾町)において開催されました。

およそ300の方が来場し、洗練された伐木技術、迫力のあるチェーンソーワークを体感しました。



長野の林業
フルカラー版



中部森林管理局長

森谷 克彦



地域とともに
課題の解決を

◆新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。
日頃より国有林野の管理経営に特段のご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年は、1月に発生した能登半島地震、6～9月の豪雨など各地で大きな自然災害が発生しました。被災された方々にお見舞いを申し上げますとともに、被災地の復旧・復興にご尽力頂いている皆様方に感謝申し上げます。

◆新年の抱負

国有林においては、山地災害の防止、国土強靱化のための森林整備・治山事業を進めるとともに、地球温暖化防止や生物多様性の保全など森林の有する多面的機能を最大限に発揮させる取り組みを進めます。また、多くの人工林が利用期を迎える中、その循環利用を進めるため、伐採・造林一貫作業、再造林の低コスト化、新技術の導入など民国共通の課題である「新しい林業」の実現に向けて効率的な施業に取り組んでまいります。

さらに、シカ等による野生鳥獣被害対策、森林・林業に関わる人材の育成など、山積している課題について、関係者と協力して積極的に役割を果たしていく考えです。

◆関係者へのメッセージ

長野県の特徴ある森林資源の循環利用と豊かな自然の活用は、地域振興の観点から大きな期待が寄せられています。昨年の7月豪雨により上高地で発生した土石流への対策として、国有林においても直ちに応急対策を実施し、本格復旧工事については、地元の要望に沿う形で、観光シーズンの利用に配慮し、入林者の少ない冬期に実施しているところです。今後も地域の幅広い関係者の皆様と連携しながら貢献して参りたいと考えております。

結びに、本年が皆さまにとって実り多き一年となりますよう心より祈念申し上げます。



長野県林務部長

須藤 俊一



森林を健全な姿で
次世代に引き継ぐために

◆新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。
日頃から県の森林・林業行政の推進にあたり、格別な御支援、御協力を賜り心より感謝申し上げます。

◆新年の抱負

今年、長野県総合5か年計画及び長野県森林づくり指針が策定から3年目を迎え、各種の施策をさらに加速化させる年となります。

この間、2050ゼロカーボンの実現に向け、再造林の加速化や、間伐等による安心・安全な里山づくり、森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり、森林・林業の多様な人材確保・育成などの取組が県内各地域で進められ、再造林面積の増加や里山での活動の推進、林業就業者の確保など、その成果が表れてきております。

引き続き、私たちの貴重な財産である森林を健全な姿で次の世代に引き継いでいくために取組を進めてまいります。

また、現在、県議会では、環境政策推進議員連盟を中心として、脱炭素社会の実現を見据えて、県産材の一層の利用促進を図るための新たな条例の制定に向けた検討が進められております。

県としては、議会におけるご議論も踏まえつつ、県による県産材の率先利用や、木製品の利用拡大を目指すウッドチェンジの気運の盛り上げなど、県産材の更なる利用促進に向けて積極的に取り組んでまいります。

◆関係者へのメッセージ

今後も、県民の皆様や、森林・林業・木材産業関係の皆様、市町村等の皆様とともに、森林づくりや林業・木材産業の一層の発展に取り組んでまいります。

本年が、皆様にとって良き一年となりますことを心から祈念し、新年の御挨拶といたします。



長野県森林組合連合会
代表理事 会長
藤原 忠彦



〜好機を迎えた
森林・林業の再生〜

◇新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。皆様方には、日頃から長野県森林組合連合会及び県下18森林組合の活動にご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、元旦の能登半島地震にはじまり、梅雨前線豪雨や台風等により各地で大きな災害が発生し、地球温暖化防止や山地災害防止等の森林の持つ公益的機能を維持發揮させることの重要性を再認識する一年となりました。

◇新年の抱負

林業・木材産業を取り巻く状況は、ウッドショック後の木材価格の落ち込み、新設住宅着工戸数の減少、世界情勢の不安定化によるエネルギーコストや資材価格等の上昇により、大変厳しい状況が続いております。しかしながら、長野県の森林は民有林人工林の約8割が50年生を超えるなど、カラマツをはじめとした森林資源は利用可能な時期を迎えており、円安の進行等による輸入材価格の上昇、SDGsへの企業意識の高まりなど、県産材の需要拡大を進める好機でもあります。

今こそカーボンニュートラルの実現に向け、「伐って、使って、植えて、育てる」森林の循環利用の着実な推進が必要であり、県森連として、県産材の一層の利用促進と、山への還元が図られますよう努めてまいります。また、引き続き研修会や指導監査を通じて森林組合の経営力強化を支援するほか、スマート林業活用に向けた環境整備と情報発信などの取り組みを進めてまいります。

◇関係者へのメッセージ

豊かな森林を未来へ引き継ぐため、適切な管理の推進、人材の確保・育成等の諸課題解決に向け森林組合系統一丸となつて尽力してまいりますので、引き続きのご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、世界の平和と社会経済情勢の安定を願うとともに、本年が皆様方にとって災害の無い、幸多き一年となりますよう祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。



長野県木材協同組合連合会
理事長
宮崎 正毅



〜連携によるサプライチェーン
の構築に向けて〜

◇新年のごあいさつ

令和七年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。当連合会の活動に対しまして、格別なる御支援と御協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

今年の干支は、「乙巳(きのとみ)」で、柔軟性と適応力を象徴する「乙」、再生と変化を意味する「巳」組み合わせ、物事を安定させる縁起の良い年とされています。干支にあやかって、関係者の皆様にとって良年となるよう懇願いたします。

◇新年の抱負

木材産業は、森林資源に近い地域で営まれることが多く、その地域の雇用の創出と経済の活性化に貢献しています。

貢献度合いを高めるためには、県産木材の製品を、建築事業者をはじめとする多くの皆様に使っていただくことが重要であると考えています。その利用量の多くを占めている住宅用木材については、耐震性や省エネルギー性能の向上など、住宅におけるニーズの変化を背景に、より一層の寸法安定性や強度等の品質・性能を求めるニーズが高まっています。そのために、製品開発や販路拡大対策と併せて、県産材製品の品質向上や効率的な生産体制の整備に取り組みとともに、需要に応じた供給が的確に行えるサプライチェーンの構築を進めてまいります。

◇関係者へのメッセージ

鉄鋼業界では、多くの化石燃料を使用して鉄由来の製品を製造していますが、製造時のエネルギーを木材など再生可能エネルギーに替えていくとする取組も始まっています。またそのような製品でなければ、取引ができない時代になってきています。

自然由来の木材を利用する林業・木材産業は環境・経済の両面において、理にかなった産業であり、その果たすべき役割は大きいと再認識したところです。

その期待に応えるためにも、木材が当たり前に使われる社会の実現に向けて、それに対する備えと自助努力を継続してまいります。

結びに、長野県の森林・林業・木材産業の発展と皆様方の御健勝と御多幸を心より御祈念申し上げます、新年の御挨拶とさせていただきます。



林業総合センターの取り組み 「森林の多様性をきのこ生産に取り入れる」



自然界、とりわけ森林内には多様な生き物がいます。「きのこ」についても、我が国には約4000種が存在し、古くから薬用や食用とされているものだけでも1400種を超えています。しかし近年、国内のきのこ生産では、空調施設を利用した大型生産者の比重が高まり、品種・出荷規格の画一化が進展しました。現在、栽培され量的に消費・利用されているきのこの種類は全体から見れば、ほんの一部分にすぎません。生産の効率性のみが優先されてきたため、森林の多様な遺伝資源が十分には活かされていないのが現状です。

林業総合センターでは、きのこ生産の効率化にも対応する一方で、山村地域や里山の活性化の観点から、森林の多様なきのこ資源を活用して、単なる効率性だけを目的としない生産技術の開発も図ってきました。一例を挙げれば、人と森を繋ぎ、里山の活用に資する「わりばし種菌」を用いたクリタケ・ナメコのきのこ簡易接種法などです。



写真：1 ブナ倒木に発生した野生ナメコ



写真：2 味センサーによる選抜野生株

最近はこちらに加えて、多様な資源の活用とこの価値を高めるため、一般社団法人長野県農村工業研究所と共同で、全国のブナ林から収集したナメコ野生株(写真・1)の中から、味覚センサーを用いた味の数値評価によって「おいしいナメコ」を選抜する研究に取り組んでいます。その結果、全国のブナ林で収集した野生株46菌株から「おいしいナメコ」5系統を選抜しました(写真・2・図)。また、収穫したナメコの水洗いを過度に行うと旨味が低下すること、ナメコを冷蔵することにより旨味が増加することなども突きとめています。

特産部ではその他に、森林からの遺伝資源の探索と栽培試験の結果から、ナメコ、ヤマブシタケ、クリタケ、ヌメリスギタケなどの多様な栽培法、落葉を活用したムラサキシメジ栽培法、森林や梅園の林床を活用したハタケシメジの栽培法についても経営収支計算例付きで技術の有効性を実証しています。

これらの事柄は、特産部で長年にわたり研究を担当した増野技師が出版社からの依頼を受け「森のきのこを食卓へ」里山で、家で、おいしく楽しむ小規模栽培」(築地書館・令和6年11月発行)にも詳しく記載しています。以下に試し読みの二次元バーコードを掲載しましたので、興味のある方は、ご覧ください。

なお、同書はオンラインや全国書店でも購入できます。



二次元バーコード

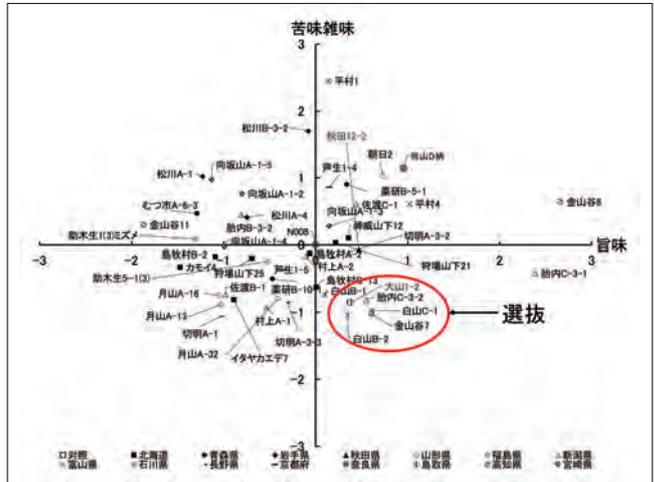


図 ナメコ野生株の味分析結果(旨味値・苦味雑味値による散布図：市販品種N008の分析値を0として換算)

【林業総合センター 特産部】



信州伐木チャンピオンシップ2024が開催されました！

長野県で初開催！

令和6年10月19日に長野県林業大学校において、チェーンソーの安全かつ正確な操作技術を競う競技会「信州伐木チャンピオンシップ2024」が開催され、林業関係者や地域住民など約300人が来場しました。この競技会は、競技を通じて、林業就業者の安全意識の醸成を図るとともに、林業の魅力の発信や事業者間の交流を目的としており、長野県において初めての開催となりました。県内の林業事業者や林業大学校から20名の選手が参加し、日頃の業務や練習で磨いてきた技を披露しました。

同様の競技会への参加経験がある「エキスパートクラス」では江田能教(えだよしのり)選手(有矢守産業)が、今回、初めて伐木競技会に参加した「ビギナークラス」では山本鷹彬(やまもとたかあき)選手(ツリーライフサポート)がそれぞれ優勝しました。競技会に参加した選手からは「チェーンソーの安全な使い方

改めて学べた」「普段の業務でも安全な行動を心掛けたい」といった感想が挙げられ、自らの技能への気付きと研鑽の機会になりました。

競技会の意義

競技会の開催に当たり、選手及びスタッフは、事前に講習会を受講し、競技のルールの確認や実技練習を行いました。競技においては、誤った動作(危険な動作)は大幅な減点となり、また、ツル幅や受け口等の1mm、1度といった僅かな差が得点に影響し、順位に

繋がります。安全かつ正確な動作を理論的に学び、高得点を目指して競うという楽しさが加わることで、練習に励み、安全への理解の深化と技術の向上が図られます。

多くの関係者と作る競技会

本競技会の運営においては、林業事業者、団体、林業大学校の学生、県職員など、50名を超えるスタッフが参加したほか、県内外の林業関係の企業、団体21者から協賛として運営費の寄付や入賞者への賞品、ノベルティグッズ等を提供

供いただくなど、林業に関係する様々な主体が参画し、全員で作上げた競技会になりました。競技の意義や必要性が多くの関係者に広がることで、安全意識と技術の向上、事業者間の交流の促進、林業の魅力発信等により、業界全体が活性化することが期待されます。

競技結果の詳細、競技のパンフレット等については、長野県のホームページで公開しています。

《信州伐木チャンピオンシップ実行委員会》

【林務部信州の木活用課】



⇐合わせ輪切り競技
傾けた丸太を下側と上側から上下の段差が少なくなるよう伐り出す競技

伐倒競技(簡易方式)⇨立木に見立てた丸太を正確に伐倒することを想定して、受け口、追い口を伐り出す競技



講習会で実技練習に励む選手



計測を行うスタッフも真剣です



選手の皆様、本当にお疲れ様でした！

「木を使い切るまち」に向けて

令和6年10月28日～11月1日に岡山県の真庭市に行き、木材産業・木材利用(先進事例学習)研修を受講してきました。真庭市は、大きなバイオマス発電所がある事から、「木を使い切るまち」として有名です。そこで学んできたことを一部紹介します。

真庭市は岡山県の内陸側に位置する南北に広い市です。その約79%が森林に覆われており、そのうち45%程度がヒノキの人工林となっています。林業の状況は、約8割が伐期を迎えており、ウッドショックの影響により主伐に転換し始め令和4年度の原木市場の取扱量が過去10年で最高の15・5万m³となっています。この状況の中、1万kwのバイオマス発電所を98%の稼働率で動かせるのは「真庭システム」が確立されていることにありました。

「真庭システム」とは、真庭市の地域内林業・木材産業関係者21団体が構成された木質資源安定供給協議会が運営する、木材の情報を管理するシステムです。素材業者が事業地を決め、システムの登録業務を担っている森林組合に報告すると、森林の所有者ごとにQRコードカードが発行されます。そのQRコードには森林の詳細な情報が紐づけられており、木材と一緒にバイオマス集積所や市場に運び込むと、木材を引き受けた業者も一目で木材の由来が分かります。また、運び込まれたときの材積などもシステムに反映されるため、リアルタイムで県内のどこに、どんな材が、どれくらいあるのか把握することができます。

この「真庭システム」のおかげで、真庭市は木材を効率的に使い切ることができています。木材の流通を見える化し管理することは、長野県の林業においても必要な事なのではないかと感じました。



岡山県森林組合連合会勝山木材共販所



素材業者に発行されるQRコードカード



真庭バイオマス発電所

【諏訪地域振興局林務課】

長野県林業士会「災害に強い森林づくり」研修会

長野県林業士会は、県が認定した林業士約130名が会員となり、地域における森林・林業の振興と会員同士の連携強化を図るための活動を行っております。

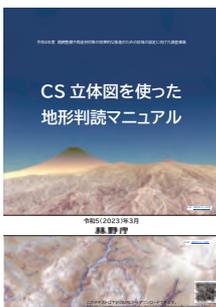
令和6年11月21日(木)に、森林・林業に係る会員の技術交流研修のため、(株)ジオフォレストの戸田堅一郎氏を講師に迎え「災害に強い森林づくりのための地形判読研修会」を松本市内の会議室で開催し約20名が参加しました。

研修会では、リモートセンシング技術の基本知識や、CS立体図における災害危険箇所の見方などを学びました。特に、元々谷地形だったが、周囲から崩積土が埋めた地形(0次谷)や、扇型の比較的緩い谷の出口付近であり、上流側の土砂浸食が頻発に発生している地形(沖積錐・ちゅうせきすい)については、災害危険度が高いのでそれぞれ注意が必要というお話もいただき、参加者からは「作業道を計画する時の参考になった」「地域のハザードマップ作成に利用していきたい」などの感想が聞かれました。

長野県林業士会は、今後も地域の森林・林業を支えるために、技術の交流研修のほか林業先進地の調査研究、普及啓発などの活動を進めてまいります。



今回の研修会には、県内各支部の林業士をはじめ、市町村や、関係団体などの皆さんが参加



CS立体図については、長野庁のホームページにも掲載
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/seibi/sagyoudo/attach/pdf/romou-17.pdf>

【信州の木活用課】

長野県きのこ料理コンクールが開催されました

令和6年度長野県きのこ料理コンクールが、信州きのこ祭り推進協議会主催により開催されました。長野県が生産量日本一を誇り、自然食品、健康食品として注目されるきのこをメイン食材にした、アイデアに富む料理を募集し、優秀な作品を広く公開することにより、多くの方に美味しく食べていただくことを目的として開催するコンクールです。

長野県きのこ料理コンクール受賞者一覧
(敬称省略)

賞の名称	作品名	参加者
最優秀賞	きのこ味噌の五平餅	渡辺 ここみ
優秀賞	きのこ焼きナスのポタージュ	西澤 愛芽
優秀賞	きのこポテ	宮嶋 宏和
優秀賞	レモンの玉手箱	小野 聖七
優秀賞	なす焼きのきのこがけ	倉島 穂花

本年度は応募総数六十七点の中から、書類審査により選抜された八名が、実演審査として実際に料理を作り審査員(学校法人石坂学園石坂健一副理事長他4名)が試食をして審査を行い、最優秀賞他

4点を選出しました。最優秀賞に輝いた渡辺ここみさんの「きのこ味噌の五平餅」は、まいたけ、ぶなしめじを入れた味噌を郷土料理の五平餅をあわせたアイデアと、きのこの風味を生かした調理や味付けが美味しい評価の高い作品でした。

開催にあたり長野都市ガス(株)様には会場の使用など多大なる御協力をお願いしました。

受賞作品のレシピは、コミュニティウェブサイトの「クックパッド」長野県公式キッチンに掲載する予定です。

クックパッド
長野県公式キッチン

はこちら



最優秀賞
きのこ味噌の五平餅

【信州の木活用課】

松本地域

「WOOD」展2024「P」に出展しました

令和6年12月19・20日に、東京ビックサイトで開催されたWOODコレクション2024 Plus(以下、モクコレ)が開催されました。モクコレは、東京都とWOODコレクション実行委員会による主催で、日本各地の木製品が集まり、「伐って、使って、植えて、育てる」という、森林の循環への寄与を目的に、木材の需要喚起と利用拡大を推進する展示商談会です。今年、38都道府県から約280の事業者が各地の木材製品や製造技術を持ち寄りました。

長野県からは31ブース・28事業者が参加され、松本地域振興局管内からは、6事業者が出展参加し、5事業者は製品のみ出展参加しました。家具や精油、木工小物などさまざまな木工製品が多数出展され、出展者は、各ブースに訪れる来場者に、製品カタログやチラシを渡して説明をしながら、実際に製品を手にとって、質感などを確認してもらい、販売促進につなげていきました。

また、当日は商談だけでなく、普段行き会えない事業者の方同士の交流の場にもなり、有意義な時間となりました。

メインステージでは、日本の豊かな森を次世代につながる各地の取組みや、都市の中大規模木造建築の普及について、有識者からの講演が行われました。これらの講演は、来場登録をするとモクコレHPからアーカイブ動画が視聴できるそうです。興味のある方は是非ご覧ください。



松本地域振興局ブースの出展状況



振興局で出展した
木工製品の数々

【松本地域振興局林務課】



令和6年度 治山・林道コンクールの表彰

(一社)日本治山林道協会・日本林道協会主催令和6年度治山・林道コンクール表彰式が、11月20日、東京都千代田区平河町「海運クラブ」において開催され、左記の通り受賞されました。

◆第47回林道維持管理コンクール(敬称略)

日本林道協会会長賞
芝平樽滝線 千曲市長 小川修一



維持管理活動(芝平樽滝線)

◆第25回民有林治山木材使用工 コンクール

長野庁長官賞
復旧治山事業20号工事

南信州地域振興局 林務課

長野県治山林道協会 事務局
〒380-8567 長野市岡田町30-16
(026)228-5571



土留工に木製校倉式土留工を採用し、県産材を積極的に利用(復旧治山事業第20号工事)

長野県治山林道協会

長野県治山林道協会は、国土の保全、水資源の確保等に寄与する治山治水事業並びに森林・林業の基幹施設として、農山村生活環境の維持改善等に寄与する林道事業を積極的に推進するとともに、林業の振興を図り、地域社会の安定的発展向上に資することを目的とし、各事業を推進しています。

災害に備える森林保険

冬の積雪による幹折れや雨水害、春先の森林火災が心配...



火災



風害



水害



雪害



凍害



噴火災



潮害



干害

「森林保険」に加入しておけば安心です

【長野県1ha当たりの代表例】樹種毎の標準的な保険金額と保険料(保険期間:令和6年4月1日~)

契約時 林 齢	カラマツ			ヒノキ		
	保険金額 被災時の 受取額	1年分	5年分 一括払	保険金額 被災時の 受取額	1年分	5年分 一括払
1	80	3,168	18,729	101	3,999	25,324
2	92	3,532		119	4,569	
3	108	4,147	割引額 1,717円	144	5,529	割引額 2,366円
4	119	4,569		166	6,374	
5	131	5,030		188	7,219	
26	177	5,540	24,939	299	9,358	42,129
27	177	5,380		299	9,089	
28	177	5,380	割引額 2,121円	299	9,089	割引額 3,585円
29	177	5,380		299	9,089	
30	177	5,380		299	9,089	



森林保険公式キャラクター
たもち



森林保険公式キャラクター
そよりん

保険料の一例です。保険加入は20年生、50年生など、いつでも可能です。
保険加入契約は、1年毎よりも長期割引のある5年分・10年分など一括契約がお得です。

【問い合わせ先:長野県森林組合連合会(TEL 026-226-2504)、またはお近くの各森林組合へ】
＜長野県林務部森林づくり推進課＞



長野県森林組合連合会
マスコットキャラクター

名前が決まりました！



もりる



ねりる

「もりる」は自然豊かな信州の山をモチーフにした、みどり色の丸い耳がかわいい森の妖精で、森とリル（Rire：フランス語で笑うの意味）から名付けられ、「ねりる」は、丸太の木口（断面）をモチーフにした葉っぱの耳がオシャレな木材の妖精で、木の年輪とリル（Rire：フランス語で笑うの意味）から名付けられました♪

2人が着こなす服は森林を育てるための苗木をイメージし、立派な手足は森林資源を活かすために販売する丸太をイメージしています♪

全1,090通とたくさんのご応募ありがとうございました！

自然豊かな信州の森林を守り育て活かす仕事を盛り上げるべく、信州の森や木材から笑顔があふれるよう、元気いっぱい活動してまいりますので、よろしくおねがいします！



令和6年度木材センター記念市

11月13日から14日の2日間、長野県森林組合連合会の各木材センターにて当会の販売事業の一大イベントである「記念市」が開催されました。

森林組合をはじめ多くの出荷者様から優良材を多数ご出品いただき、関係者各位の皆様には厚く御礼申し上げます。

北信木材センターでは、カエデやクルミ等広葉樹の良質材に、札が集中し高値で取引され、カエデ4.0m（末口64cm）には250,000円/m³の値が付き、販売量は3,250m³となりました。

中信木材センターでは、ヒノキやナラ・クリを中心に高値で取引されました。特に高値となったクリは4.0m末口（48cm）で130,000円/m³となり、販売量は6,462m³となりました。

伊那木材センターでは、高値続出の大変賑やかな記念市となりました。元玉ヒノキ4.0m（末口26cm）で150,000円/m³となりました。

各木材センター記念市の当日には、所管の森林管理署長や県地域振興局林務課長、森林組合の役員をはじめ、多くのご来賓にご臨席賜り、多量出荷者が高額お買い上げ者への感謝表彰など、新型コロナウイルス禍以前と同様に盛大に式典を執り行いました。

新規住宅着工戸数の減少や世界情勢の不安定化によるエネルギーコストや原材料価格の上昇等により木材市況を取り巻く情勢は厳しい状況が続きましたが、製材用丸太の原木不足や根強い広葉樹材の引き合い等、各木材センターでの記念市の結果から、長野県産材の流通拠点としての責務を改めて感じました。

本年も業務課及び各木材センター一同、長野県産材の有利販売と安定供給に努めてまいりますので、益々の出材のご協力をお願いすると共に、高値での活発な入札のほどよろしくお願ひします。

※裏表紙に記念市の様子を写真付きで紹介しています。



▲上伊那森林組合への感謝状贈呈の様子(伊那木材センター)

森と暮らしの仕事に出会える焚火会に出展



◀冒頭に(株)やまとわの奥田氏と(株)DLD 蒲谷氏の対談と各企業のプレゼンが行われた



移動式のサウナも登場！▶

11月10日(日)に伊那市産学官連携拠点施設 in adanisees で開催された「森と暮らしの仕事に出会える焚火会」に出展しました。全国から就職や転職先、移住や異業種交流を求める、学生など約70名の参加者が集い、ぬくもりある伊那産の薪を焚いた火を囲んで語りました。



▲焚き火で雰囲気満点♪

出展した森や自然と関わる仕事を営む、伊那谷に拠点を持つ7つの企業(団体)は、薪ストーブの販売と薪の宅配やキャンプ場の運営、木材加工機の販売企画やクラフトビール醸造など幅広く、参加者はそれぞれの経営理念やビジョン、業務内容の説明に耳を傾け、その仕事の面白さや長野県での暮らし、森林・林業にまつわる疑問などを気になる各企業の焚き火ブースへ巡りながら情報収集をしていました。森林や林業のことは各種メディアやSNSでも取り上げられるようになってきましたが、実際に関わる企業とつながる場合は貴重で、当会の事業展開や長野県産材の流通、森林組合についても様々な方に知っていただける、またとない機会となりました。



2025年 長野県内木材市売日程

飯伊 長野県 森林組合 連合会
森林組合 伊那木材 中信木材 北信木材
木材共販所 センター センター センター

木曾官材市売協同組合
本部(製品) 荻原(原木) 坂下(原木) 国有林土場等活用
委託販売(原木)

飯伊 森林組合 木材共販所	長野県 伊那木材 センター	森林組合 中信木材 センター	連合会 北信木材 センター	月	木曾官材市売協同組合 本部(製品)	荻原(原木)	坂下(原木)	国有林土場等活用 委託販売(原木)
初市 17日(金)	初市 ひのき祭り 16日(木)	初市 15日(水)	初市 16日(木)	1月	初市 第28回全県木材 需要拡大対策 研修大会 25日(土)	初市 28日(火)	初市 16日(木)	初市 8日(水)
		広葉樹祭り 4日(火)	広葉樹祭り 5日(水)	2月	特選材市 15日(土)	18日(火)	5日(水) 20日(木)	4日(火)
				3月	特選材市 15日(土)	18日(火)	13日(木)	4日(火)
				4月	花まつり 19日(土)	春季謝恩市 22日(火)	3日(木) 春季謝恩市 24日(木)	15日(火)
	上伊那・諏訪 地域材祭り 14日(水)	松本平・安曇野 地域材祭り 13日(火)	北信地域材祭り 14日(水)	5月	特選材市 17日(土)	20日(火)	15日(木)	13日(水)
				6月	特選材市 21日(土)	24日(火)	2日(月) 17日(火)	10日(水)
				7月	第58回 木材まつり 26日(土)	29日(火)	3日(木) 中元謝恩市 24日(木)	8日(水)
				8月	特選材市 23日(土)	26日(火)	19日(火)	5日(火)
				9月	特選材市 20日(土)	24日(水)	4日(木) 開設27周年記念市 25日(木)	9日(火)
				10月	開設58周年記念市 荷主会結成57周年記念市 18日(土)	創立70周年記念市 第41回日本美林まつり 21日(火)	8日(水) 23日(木)	7日(火)
	開設64周年 記念市 11日(火)	開設63周年 記念市 12日(水)	開設67周年 記念市 13日(木)	11月	特選材市 15日(土)	18日(火)	7日(金) 25日(火)	6日(木)
納市 19日(金)	納市 10日(水)	納市 9日(火)	納市 10日(水)	12月	納市 13日(土)	納市 16日(火)	納市 11日(木)	納市 4日(木)

市売の最新情報については、各事業所にお問い合わせいただくか HP をご覧ください。



謹賀新年



一般社団法人
長野県林業経営者協会
会長 林和弘

一般社団法人
長野県林業普及協会
会長 林和弘

長野県木材協同組合連合会
理事長 宮佐原正毅
副理事長 新井良彦
副理事長 佐藤隆彦
副理事長 井原正毅
副理事長 島崎正毅
副理事長 柳村正毅
専務理事 柴宗彦
事務局長 松本昌弘
弘志 成次 弘幸 彦毅

長野県森林組合連合会
代表理事 会長 藤原忠彦
副会長 理事 林和弘
代表理事 専務 村松敏伸

一般社団法人
長野県林業センター
理事長 藤原忠彦
副理事長 宮崎正毅
副理事長 水本豪毅
常務理事 宮宣敏

長野県山林種苗協同組合
理事長 神戸直日
組合員一同

信州木材認証製品センター
理事長 宮崎正毅
副理事長 鈴木明彦
副理事長 柴村敏伸
専務理事 松本昌弘
事務局長 本田寿弘

林業・木材製造業労働災害防止協会
長野県支部
支部長 宮崎正毅
副支部長 柴村敏伸
幹事 田中裕一郎
事務局長 中田裕一郎

長野県林業団体協議会
会長 村松敏彦
副会長 藤原忠彦
副会長 宮崎正毅
副会長 水本豪毅

一般財団法人
長野県林業労働財団
長野県林業労働力確保支援センター
理事長 丸山勝規
役員一同

農林中央金庫
長野県担当部長 島田博之
関東業務部

長野県造林協会
会長 藤原忠彦

長野県治山林道協会
会長 羽田健一郎
役員一同

長野県林業薬剤防除協会
会長 牧司

森林・林業の総合アドバイザー
一般社団法人
長野県林業コンサルタント協会
理事長 羽田健一郎

長野国有林森林整備協会
会長 由井正隆
副会長 林井和弘
専務理事 酒井省三
長野市稲葉母袋沖六二二一
TEL (026) 285-1907
FAX (026) 285-1907

長野県林業士会
会長 飯森幸彦

長野県林業研究グループ連絡協議会
会長 田中忠

長野県特用林産振興会
会長 林和弘

長野県水源林造林協議会
会長 白鳥孝

謹賀新年



“自然と共に”

NPO法人 森林環境

理事長 湯 沢 要 次
長野県駒ヶ根市経塚七十一
番(〇二六五)八一四八〇三

南安曇木材協同組合

理事長 佐 原 良 彦
安曇野市穂高七九四〇一二七
番(〇二六三)七二二二〇〇

南佐久北部森林組合

代表理事 佐々木 勝
組合長

南佐久中部森林組合

代表理事 黒 澤 和 夫
組合長

南佐久南部森林組合

レストラン 四季の味 樹木里
代表理事 由 井 明 彦
組合長

緑を育て山を守る

佐久森林組合

代表理事 山 岸 喜 昭
組合長
役員一同

緑の担い手

信州上小森林組合

代表理事 石 井 公 彦
組合長
役員一同

佐久森林林業振興会

役員一同

上小林業振興会

会 長 羽 田 健 一 郎
役員一同

下伊那山林協会

役員一同

飯伊木材協同組合

理事長 澤 柳 浩 成
事務局 飯田市常盤町三〇
番(〇二六五)三三三三三六

北信木材生産 センター協同組合

代表理事 竹 下 元 治
長野市大字穂保字中ノ配三四二

木曾山林協会

会 長 大 屋 誠
役員一同

諏訪森林組合

代表理事 藤 森 良 隆
組合長
役員一同

上伊那森林組合

もりもり上伊那
代表理事 白 鳥 孝
組合長
役員一同

飯伊森林組合



代表理事 林 和 弘
組合長
代表理事 吉 澤 悦 史
常務理事
役員一同

根羽村森林組合

信州根羽すぎ・根羽ひのき
代表理事 大久保 憲 一
組合長
役員一同

松本地域森林 林業振興会

役員一同

北佐久木材協同組合

理事長 新 井 藤 弘
組合員一同
事務所 小諸市大字平原四ツ谷原九六七〇七
番(〇二六七)二二二二二一〇
FAX(〇二六七)二四一〇六八三

上小木材協同組合

理事長 小 林 基 英
組合員一同
上田市芳田一八一八一
番(〇二六八)三五一一四〇〇



謹賀新年



北信州森林組合

代表理事 山崎 明
組合長 山崎 明
役員一同

栄村森林組合

代表理事 久保田 道一
組合長 久保田 道一
役員一同

木曾南部森林組合

代表理事 坂家 重吉
組合長 坂家 重吉
役員一同

長野森林組合

代表理事 和田 智
組合長 和田 智
役員一同

平澤林産有限公司

立木買取り・生産販売・支障木処理
特殊材注文販売・産業廃棄物処分業
木材森林整備認定事業者
代表取締役 平澤 照雄
長野県伊那市西春近四一〇五番地
TEL (0265) 781222
FAX (0265) 761575

瑞穂木材株式会社

木材製材販売・住宅資材販売
代表取締役 宮崎 正毅
下高井郡木島平村大字穂高三二八一
TEL (0269) 821411
FAX (0269) 821416

宮澤木材産業株式会社

代表取締役 宮澤 遥
長野市中曾根二一八八一
TEL (026) 391058
FAX (026) 391058
環境事業部
TEL (026) 391326
FAX (026) 391325

齋藤木材工業株式会社

ハイグレード集成材 信州唐松丸
代表取締役社長 齋藤 健
〒386-0603 長野県小県郡長和町古町四二九四
TEL (026) 681355
FAX (026) 681022

高遠興産有限公司

素材生産事業 森林整備事業
代表取締役 林 敏行
〒396-0023 長野県伊那市山寺一五五八一
TEL (0265) 961007
FAX (0265) 718308

株式会社 吉本

代表取締役社長 由井 正宏
南佐久郡佐久穂町大字平林二二一
TEL (0267) 861430
FAX (0267) 861544

南木曾町森林組合

代表理事 堀 賢介
組合長 堀 賢介
役員一同

日本林業土木(株)

長野 出張所
長野市岡田町三〇一
TEL (026) 227161
長野 出張所
長野市岡田町三〇一
TEL (026) 227161

みどり産業株式会社

代表取締役 篠原 明
本社 長野市大字稲葉二四二三
長野市友ビル
TEL (026) 224187
FAX (026) 223179

日本森林技術協会

長野事務所 所長 油井 章次郎
長野市岡田町三〇一
TEL (026) 227166

木曾官材市売協同組合

理事長 勝野 智明
長野県木曾郡上松町正島町二四四
TEL (0264) 511480
FAX (0264) 511334

松本広域森林組合

代表理事 吉田 満男
組合長 吉田 満男
役員一同

和合森林組合

代表理事 村澤 博光
組合長 村澤 博光
役員一同

木曾森林組合

代表理事 原 久仁男
組合長 原 久仁男
役員一同

信州の木認証合板で 地産地消の緑の循環



(本社) 06-6228-1401
(七尾工場) 0767-52-4376
(舞鶴工場) 0773-68-0306
(北陸営業所) 0767-52-4376

謹賀新年



一般社団法人

長野県猟友会

会長 竹入正一

グリーンプラマーク取得

まつのごころ

地球にやさしい
生分解性プラスチック使用の
くん蒸用被覆シート

〒381-0045
長野県長野市桐原1-2-12
TEL 026-243-1115
FAX 026-243-1520

信濃化学工業株式会社

唐松・杉・桧各種素材丸太・製材品
組建物・看板・加工一般・施工一式
新型インサージング
(角材及び円柱可能)
防腐加圧処理(ACC・その他)
※加圧処理は、長さ16.0mまでできます
ウッドレリーフ製作

大栄産業株式会社

松本市波田二九五-1-37
☎(0263)9215051
FAX(〃)9215809
ホームページアドレス <http://www.daisy.co.jp>

損害保険代理店
環境事業計画施工・墓石

株式会社 モリレン 長野

長野市中御所岡田町三〇一-16
☎(026)2671663
FAX(〃)26610182

株式会社 キーテック

代表取締役社長 中西宏一
〒136-0082 東京都江東区新木場一丁目二二
TEL (03)55341374
新木場タワー八階
<http://www.key-tec.co.jp>

サンドキーパーマット
SN緑化万能マット
カゴ枠・大型カゴ枠・パネルフロン電

株式会社 酒井工業所

松本市井町南三丁目一〇番一四号
☎(0263)5813200
FAX(〃)8613881

森林整備・素材生産(産廃)収集運搬業
支障木伐採・処理・薪販売

オガサワラ林業有限

代表取締役 小笠原 稔 起
松本市中山四一三五-1-4
☎(0263)5815939

東信素材生産事業

協同組合

代表理事 堀内利夫
組合員一同
小諸市大字平原字四ツ谷原九九五-1
☎(0267)2215045
FAX(〃)2215032

素材生産請負・森林整備
立木買付・生産販売

王滝林業有限会社

取締役社長 西路 明
木曾郡王滝村四五六三-12
☎(0264)481363
FAX(〃)4812383

カラ松日本一を目指します

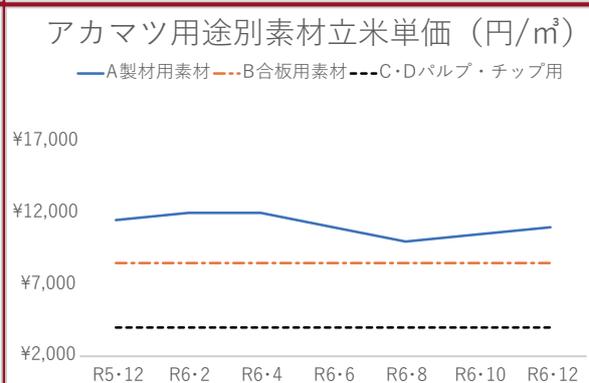
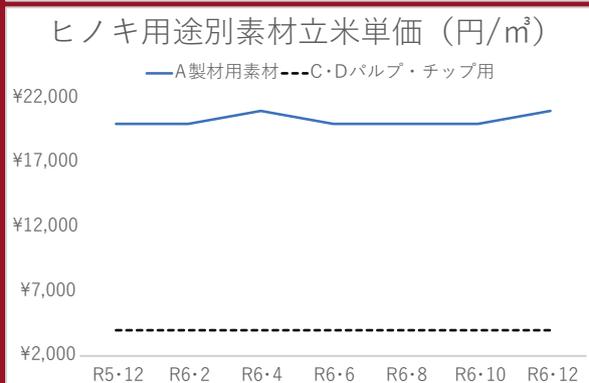
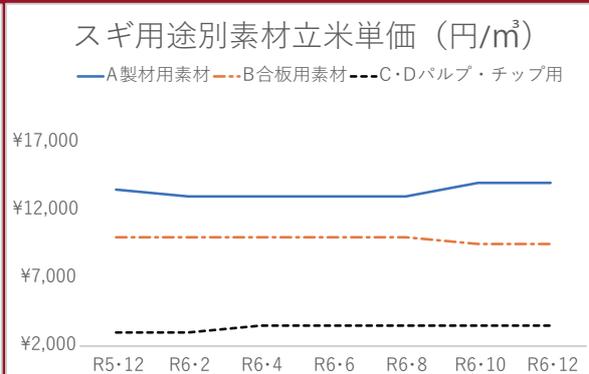
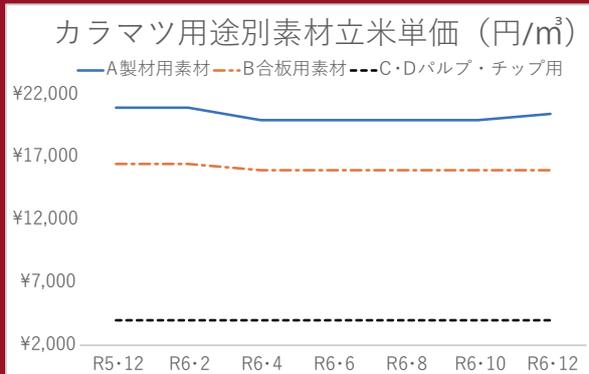


東信木材センター協同組合連合会

小諸市甲字鞍掛4747 電話 0267-23-0887
FAX 0267-22-1293



JForest 長野県の木材市況



※北信、中信、伊那木材センターの市況表より作成



▲高値をつけたヒノキ元玉 (伊那木材センター)



▲カエデ 4.0m 末口 64cm (北信木材センター)



◀クリ 4.0m 末口 48cm (中信木材センター)

令和六年度記念市

多くの優良材のご出品、並びに高値でのお買い上げをいただき、誠にありがとうございました。

県森連 HP では市売情報を写真付きで随時更新しております！

最新の市況表もご覧いただけますので、納材や入札の検討にご活用ください！

「長野の林業」のバックナンバーもこちらから♪



長野県森連